

第1回定例会
3月議会

手話言語の確立と

多様なコミュニケーション手段の利用を促進

全会一致で条例を可決

第1回定例会3月議会が2月24日から3月26日まで31日間の会期で開かれました。平成27年度当初予算や手話言語を確立するとともに要約筆記・点字・音訳等障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例など、議案53件を可決・同意、報告5件を了承、請願1件を採択しました。



上西作品展での二見西小学生による太鼓演奏。力強い音と威勢のよい掛け声が響いた。

3月26日の本会議では、

手話言語を確立するとともに要約筆記・点字・音訳等障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例を全会一致で可決しました。

この条例は、障害のある人がその特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築し、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解し合い、お互いの尊厳を大切にしようとする

のまちづくりを推進するために制定するものです。条例の検討にあたっては、障害者や手話通訳等の支援者、学識経験者からなる委員会を設置するとともに、委員以外の障害者からの意見も参考にして、案をまとめました。

条例では、手話通訳者等の派遣範囲を拡大した



傍聴席にも手話通訳者を配置

り、人材の養成に力を入れたりする方針を示しています。今後は、明石市手話言語等コミュニケーション施策推進協議会を設置し、具体的な施策について協議していくこととしていきます。

審査を行った文教厚生常任委員会では、委員から、手話等を学ぶことを小学校などの授業に取り入れてはどうかとの質問がありました。市からは、学校の授業として定期的に取り組むことは難しいが、手話を使って話をする人がいることなど、基本的なことを知ってもらうために、年に数回は授業に取り入れてもらえるように教育委員会と調整中であるとの答弁がありました。

西部中学校給食センター 建設費用の予算を可決 モデル校で先行実施

西部中学校給食センター建設にかかる事業費を計上した補正予算案を賛成多数で可決しました。

中学校給食については、検討委員会の基本計画に基づいて、2カ所の給食センターでの実施を目指しています。このうち東部給食センターは、建設予定地から見つかった想

定を超える量の産業廃棄物を除去する費用が多額であり、安全対策も不十分であるとして、平成26年10月議会で補正予算を否決したため工事が中断しています。今後は環境分野の専門家会議の結論を踏まえて工事の再開を目指していきます。一方、西部給食センターの予定地では、汚染土壌や埋設物が見つかったもの、すでに除去されたことから建設工事を進めようとするものです。

文教厚生常任委員会では、委員から、事業の早期実施を求める声がある一方で、東部給食センター建設の先行きが不透明であることから、基本計画を見直し、建設場所や

実施方式なども再検討すべきで、西部給食センターの建設を先行すべきではないとの意見がありました。市からは、西部給食センターについては用地の土壌入替工事により安全性が確認できたこと、また、国の交付金の内定を受けたことから、給食の早期実現に向けて先行して事業を進めたいとの答弁がありました。

今後は、27年4月から5月にかけて入札を行い、6月議会で契約議案を提案、7月には建設工事に着手し、28年度2学期から西部給食センターを使用し、大蔵、高丘、魚住の3校をモデル校として中学校給食の先行実施を目指すこととなります。

- もくじ
- 2 会派を代表して7人が登壇
代表質問・質疑
 - 4 12人が市政を問う
一般質問・質疑
 - 5 可決した議案を一部紹介
決まりました

- 5 要望や意見を市議会に伝える
請願
- 6 平成26年の市議会の活動
会期・議決事項件数
- 6 議員よもやま話

- 7 もっと住みたい、住みつけたいまちへ
平成27年度当初予算
- 8 各議員の議案に対する賛否
議案の賛否一覧